



ムトス飯田助成事業の決定について



本年度のムトス飯田助成事業は、31事業を決定しました！

ムトス飯田推進委員会（会長：飯田市長、座長：塩澤哲夫、計11名の市民会議）は、本年度のムトス飯田助成事業への応募案件について審査し、別添のとおり31事業を採択し、助成交付を決定いたしました。

（決定事業の内訳）

助成事業	決定件数(応募数)	総事業費（円）	交付決定額（円）
まちづくり・地域づくり応援事業	30 (30)	13,793,369	6,490,000
多様な主体が連携する協働活動	1 (1)	700,000	300,000
計	31 (31)	14,493,369	6,790,000

■ムトス飯田

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「ん・と・す」を引用したもので、「まさに…しようとする」という意思を表す言葉（「…せむ（ん）とす」）。英語の Will と同じで、行動への意思や意欲を表している。

添付資料の有無

なし あり（別添のとおり）

飯田市ウェブサイトへの掲載

なし あり

後日掲載

発表の趣旨

政策・施策・事業等の発表

イベント等の事前告知

当日の取材依頼 市民・対象者等に対する周知依頼

イベント・事故等の事後告知

その他



リニアがもたらす大交流時代に
「くらし豊かなまち」をデザインする

合言葉はムトス
誰もが主役 飯田未来舞台

IIDA CITY <http://www.city.iida.lg.jp/>

問い合わせ先

ムトス飯田推進委員会（事務局 ムトスマ
ちづくり推進課）担当：今村

電話：0265-22-4511

FAX：0265-22-4568

mail：mutosu@city.iida.nagano.jp

まちづくり・地域づくり応援事業							
通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応1	NPO法人南信州クラブ	木下要弥	健康体操教室・サロン付買物弱者支援無料バス運行	一昨年度から、週1回の高齢者を対象とする体操教室を開催している。団体所有のマイクロバスを利用して送迎すると共に、一人では簡単に買物に出かけられない方には、帰りに地元のスーパーなどに寄って買物をしてもらう。教室終了後には、茶話会も行う。	<3回目>	245,220	100,000
応2	ふれあいボランティアもみじの会	中島茂	歌うボランティア活動	介護福祉施設等への「歌うボランティア活動」として毎月15～20日間訪問、利用者も一緒に歌うことで、リハビリ効果も生じている。自分たちも利用者も、互いが元気になる活動。本年度は音響機器の更新など、長く活動を続けるための助成申請。	<3回目>	273,921	191,000
応3	子育て支援隊 ふわり	椎名純代	0歳児とその母親にBP(ベビープログラム)をお届けする事業	核家族化などを背景として、生後2～5か月の赤ちゃんと母親を対象に①子どもの健康な心作り②産後鬱の予防③子どもの虐待防止 のために、「親子の絆づくりプログラム」を提供する。プログラム提供のためのファシリテーターも増やしたい。	<初回>	309,760	216,000
応4	フォーカス	松島輝彦	IIDA DANCE FES(イイダダンスフェス)	飯田市にダンスカルチャーを広めるために、イベントを開催する。地元のダンス団体に発表の場を提供することにより交流の機会にすると共に、ゲストダンサーの質の高いダンスに触れることにより、技術や文化の向上を図る。また、グラフィティアートに触れる機会もつくる。	<初回>	732,611	270,000
応5	天龍峡篠笛愛好会	清水實	祇園囃子等の伝統芸能継承	川路伝統の祇園祭りに欠かせない篠笛演奏の担い手を育成し、伝統芸能を継承することを目的として、プロの奏者からの技術指導などにより演奏技術を磨くと共に、小学生への指導を行う。天龍峡を中心としてイベントでの演奏活動を行う。本年度は、ホームページも作成する。	<3回目>	200,000	126,000
応6	千代地区まちづくり委員会	関口俊博	野池親水公園活性化事業	千代インターの供用開始やリニア開業を控え、重要な地域資源である野池親水公園を山岳観光・体験型観光の拠点として活用すべく、市から譲り受けたマイクロ水力発電所を使い、子ども達への環境学習・公園の環境整備活動・子ども向けイベントなどを行う。	<3回目>	465,000	300,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応7	千代地区 まちづくり 委員会	関口俊博	千代の明るい 未来を描く ～ 第4次千代地 区基本構想計 画の策定	千代インターの供用開始など、 地区を取り巻く状況利の変化に 応じた地域づくりの方向を住民の 総意により決定し、住民が一体と なって地域づくりを進めるため、 基本構想計画を策定し、全戸配 布する。各種団体代表の他、公 募委員も加えて策定委員会を設 置する。策定後は、毎年進行管 理を行う。	<初回>	99,374	69,000
応8	上久堅地 区まちづ くり委員会	北沢保美	活動記録保存 事業	地区住民が、これまでのまちづ くり委員会の活動を共有すること により、今後の活動に活かすため、 今までに発行された「自治会だよ り」と「まちづくり通信」をまとめる。 制作委員会を立上げ、制作後は 学習会も開催する。	<初回>	585,200	300,000
応9	上中村獅 子舞保存 会	増田浩通	上中村獅子舞 保存会後継者 育成事業	会員の高齢化により、後継者の 育成を図るため、獅子舞の所 作、太鼓のたたき方、笛の指使 いを動画にして教材を作成す る。また、会員募集のチラシを 作成し、中高生なども含め、地区を 巻き込んだ募集を図る。これま での動画や写真を収集し、保存 する。	<初回>	149,700	93,000
応10	追手町2 丁目自治 会	小林正博	防犯カメラ設置 事業	平成25年夏以降、放火事案が連 続して発生しているため、犯罪発 生の抑止効果を見込み防犯カメ ラを設置すると共に、設置基準も 定める。また、住民によるパト ロールやチラシ配布等による防 犯・防災意識の高揚を目指す。	<初回>	167,800	90,000
応11	農愉快	眞野貴司	羽ばたけ シ ニア世代 野菜 づくりを通じて 「健康・交流・ 地域貢献」を GETし生き生き 生活を	現在実施している、農作業を通 じた地域還元も重視した「健康・ 交流」事業を、「野菜への付加価 値検討」「地域還元」「野菜づく りの技術・知識の向上」により ステップアップし、自主的運営の 確立にもつなげていく。	<3回目>	305,750	179,000
応12	はなぶさ 村農園	佐藤智英	はなぶさ村農 園 子供たちの 農育・食育・居 場所づくり	子どもたちが、大人や地域の人 と共に農業に触れる体験をする ことにより、農業の楽しさや知 識を知ることができる。世代間 コミュニケーションをとることが でき、社会性を学べる場にも なる。地元農家の指導の下、 野菜の種まきから収穫、販売 までを行う。	<初回>	276,905	193,000
応13	NPO法人 いいた自 然エネル ギーネッ ト山法師	中島武津雄	木工製品づく り環境整備 及び地域材 を身近に感 じる体験 やイベント 開催	環境課題の解決のために重要 な、地域の森林資源を活用す るため、間伐材による木工製 品や薪づくりを事業継続に必 要な経費を生み出せる状況に したい。このための加工機器 の導入、施設の環境整備を 実施する。また、地域材の 周知のため、森の市開催の 協力、小学生の木工体験学 習の受入れを行う。	<2回目>	451,722	300,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応14	大平街道を愛する会	下澤一壽	大平街道を愛する会	大平街道に点在する三十三観音の木製看板が劣化しているため、腐食に強い素材で更新する。文字入れと設置は会員が手作業で行い、設置に合わせて周辺の環境整備も行う。	<初回>	60,000	40,000
応15	小野子支援隊	北沢嘉三	地区支援	草刈り、支障木除去、除雪などを低廉な価格設定により区民の助け合いによって行う事業。隊員の高齢化に対応するため、作業の機械化を進める。	<初回>	464,396	246,000
応16	NPO法人もりの学校	小林俊二	子供のためのパソコンプログラミング教室	子ども達が育った環境で学力が左右されないよう、現在、ネット上で小学生を対象とした学習できるページを開設しているが、パソコンを操作できる環境にない小学生もいる。土・日曜日に公民館などを会場としてパソコンなどを利用した学習教室を昨年度から開催している。本年度は参加者の増を図る。	<2回目>	619,780	270,000
応17	信州飯田蕎麦達人の会	仁科保	「そば打ち」「2・3人分のそば打ち」及び「早そば」の講習	現在実施している「そば打ち教室」における課題を解決するため、新たに「小人数分のそば打ち」と早く打てる「早そば」をメニューとして加えることにより、参加者の増を図る。他、施設等における実演、手順書の印刷等を行う。	<初回>	861,880	300,000
応18	信州森組	木下光	地域産材によるすまいづくりの普及・啓発活動	地域産材の地産地消や地場産業の振興を目指し、南信州産材の供給体制が現実的かつ安定的なシステムとして確立できるように取り組むと共に、地域産材によるすまいづくりの普及・啓発活動に取り組む。具体的には、パンフレット作成、ホームページ更新、地域産材住宅見学会、子供たちの体験教室などを実施する。	<3回目>	359,500	225,000
応19	代田地区寺子屋運営委員会	松澤秀明	代田地区寺子屋運営委員会	「地域の子どもを地域で育てる」を実現するため、地区内の小学生を対象に、夏休み中に毎日の学習支援のほか、「工作教室」、「星見の会」、自分でおにぎりを作る「朝食会」を実施する。冬休みには「書初め教室」を行う。本年度は、ラジオ体操に新たに地域の高齢者を加える事により、多世代交流を更に進めると共に、活動の周知も進めたい。	<2回目>	170,500	112,000
応20	代田獅子囃子保存会	松澤秀明	小学生のための「笛」の吹き方教室	伝統の民俗芸能である代田獅子囃子を末永く継承するため、参加対象を、今まで参加してくれている小学3・4年生の女兒に加えて小学生全般に広げ、地域コミュニティの拡大や子どものふるさと意識を育てることに繋げていきたい。	<2回目>	188,850	118,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応21	丸山まちづくり委員会	小澤伸好	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト	リニアや三遠南信自動車道開通による交流人口の増加を見据え、観光客受入れの体制づくりに取組む。活動に若年層を加える事により、還って来たいと思える地域づくりや資源づくりに取組み、これを活用して移住・定住につなげたい。植樹した花木の管理、ツリークライミング、携帯トイレの普及等を行う。	<2回目>	425,000	297,000
応22	猿庫の泉愛護会	篠田信秀	羽場地区 猿庫の泉愛護会	大切な資源である猿庫の泉の活性化・保存活動を持続的に行うことができるよう、各種関係団体が協力し、愛護会を結成した。本年度は、若年層の協力も得て除草・清掃等の活動を行うと共に、同泉の水量減少の原因である、老朽化した地下パイプの交換作業等を行う。	<初回>	1,300,000	300,000
応23	麻績の里振興委員会	筒井誠逸	麻績の里おもてなし事業	来年4月に開催される元善光寺御開帳に向けて、地域の食事処、土産処、歴史文化を紹介する「座光寺おもてなしマップ」(仮称)を作成、配布する。また、周辺に花のプランターを設置する。	<3回目>	402,600	252,000
応24	三穂地区まちづくり委員会	林高功	「写真と文字で語る旧小笠原書院・小笠原資料館」のパンフレット作成	地区の財産である旧小笠原書院・小笠原資料館の文化的価値・時代背景について地区住民に再認識してもらうため、パンフレットを作成し、地区内・関係機関へ配布する。	<初回>	319,000	223,000
応25	三穂地区まちづくり委員会	林高功	豊かな自然と伝統ある文化を守るため構想の策定	来年度から10年間の地区の基本構想・基本計画を、策定委員会を立上げてまとめ、全戸配布する。	<初回>	352,000	246,000
応26	しなの大和	寺澤亜由美	しなの大和2020～天竜峡ガイドツアー～	「よさこい(踊り)」のチームとして県内外の祭りや福祉施設のイベントなどに参加することにより、コミュニティを形成し地域を盛り上げると共に、南信州の良さを内外にPRする。本年度の踊りは、天竜舟下りをテーマとする。	<3回目>	1,288,660	300,000
応27	芸能の郷づくりの会	鈴木敬	芸能の郷づくり～川路・天龍峡・龍江～	天龍峡の活性化のための様々な団体と連携し、「芸能の復興」という視点から天龍峡再生を目指す。本年度は、踊りの担い手を育てる。具体的には、①踊りの担い手研修事業②芸能の成果発表事業を行う。	<2回目>	386,720	270,000
応28	天龍峡温泉観光協会	竹村公秀	天龍峡花の里推進活動	天龍峡大橋を訪れた観光客を、景勝地まで誘導するため、①桜に名前をつけて説明看板を設置する②山桜、岩間つつじ、菜の花を各所に植栽する。	<初回>	378,104	264,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応29	県農地耕 さくらぶ	木下周次	県地区での遊 休農地の解消	地域の環境保全、農地の有効活 用のため、遊休農地を解消す る。県の遊休農地などで水田を つくり、米を販売した収入を一部 参加者に配分することにより、持 続的な活動にしていく。	<初回>	1,449,616	300,000
応30	米川桃源 郷プロ ジェクト委 員会	小嶋和明	米川桃源郷プ ロジェクト	「ここに住んで良かったと思え る地域づくり」を目指して、今年 度はイロハモミジの植樹を強化 する。また、道沿いの休耕田にあ やめと花菖蒲を植栽し、景観保 全・観光に寄与し、併せてあやめ 園や花菖蒲園として収入の確保 にも繋げたい。	<3回目>	503,800	300,000
計	件数	30				13,793,369	6,490,000

多様な主体が連携する協働活動

協1	プロ野球 選手を招 く会	池田大介	第二回軟式少 年野球教室	スポーツ人口、野球人口が減少 している。野球をやっている子ど も達の技術や野球に対する考え 方を様々な角度から見ることが できるように、プロ野球選手を招 いて野球教室を開催する。子ども たち、指導者、保護者が怪我防止 についての理解を深め、見つめ 直す機会にもする。	<初回>	700,000	300,000
	飯田市少 年野球指 導者協議 会	川手康司					
計	件数	1				700,000	300,000

合計	14,493,369	6,790,000
----	------------	-----------